

中国四国地域の野菜

中国四国農政局



平成 3 1 年 3 月

農林水産省

利用にあたって

中国四国地域は、積雪の見られる日本海側、温暖で降水量の少ない瀬戸内海沿岸、温暖で降水量の多い太平洋側と異なる3つの気象地域に大別されます。また、地形的には、急峻な山地が広がるため傾斜地が多いことに加え、島しょ部も多いことから平地が少なく、耕地面積の約3分の2が中山間地域に該当しています。

このような特色ある気象条件や地理的条件の中で、京阪神などの大市場に近い立地条件なども活かしながら、米、野菜、果樹、畜産等多彩な農業が展開されています。

その中でも、野菜の産出額は2,576億円（平成29年）、農業産出額に占める割合は28.2%を占めるなど重要な農業生産部門となっています。

しかし、野菜は天候によって作柄が変動しやすく保存性も乏しいため、供給量の変動に伴い価格が大幅に変動しやすく、加えて生産者の高齢化、後継者の不足等に伴い近年、作付面積は減少傾向で推移しています。

一方、野菜の用途別仕向け量については、ライフスタイルの変化による食の外部化等を背景に加工・業務用仕向けが家計消費を上回り全体の約6割を占めており、実需者ニーズに対応した国産野菜の安定供給が課題となっています。また、野菜は国民消費生活上不可欠であるにも係わらず消費量は減少傾向にあり、世代別の摂取量をみても、厚生労働省が推進する「健康日本21」で1日の野菜摂取量の目標とされる350グラムを下回っている状況です。

このような諸課題に対応するため、管内の各県・各産地などにおいても様々な取組が行われており、農林水産省としても、野菜産地の生産力の強化、流通の合理化、需要拡大等について各種対策を講じて取り組んでいるところです。

本書は、中国四国地域野菜の生産、流通、価格等の動向等を取りまとめたものであり、関係各位の執務の参考として御活用いただき、管内の野菜産地の発展の一助となれば幸いです。

平成31年3月

中国四国農政局生産部園芸特産課長 佐藤京子

目 次

1	中国四国地域における野菜の概要	1
2	野菜の産出額	
(1)	農業産出額・野菜産出額の年次別動向	13
(2)	中国四国管内各県における産出額の多い野菜ベスト10(平成29年)	14
(3)	産出額の多い県別野菜ベスト30(平成29年)	14
3	農業経営体数の動き(野菜部門)	15
4	主要野菜の作付面積及び収穫量	
(1)	品目別・年次別生産動向	16
(2)	指定野菜の県別動向とシェア(平成29年産)	49
5	地域特産野菜の作付面積	
(1)	品目別・県別作付面積(平成28年産)	51
(2)	各県における作付面積の多い地域特産野菜(平成28年産)	52
6	野菜指定産地・特定産地	
(1)	中国四国地域野菜指定産地の種別別指定経過	53
(2)	野菜指定産地等県別・品目別産地数	55
(3)	野菜指定産地等県別一覧(平成30年度)	59
7	指定野菜の流通状況	
(1)	中国四国地域産野菜の主要消費地域(対象市場群)別卸売数量及び卸売価格(平成29年)	70
(2)	各県主要卸売市場における県内産指定野菜の入荷状況(平成29年)	74
(3)	中国・四国地域(対象市場群)への産地別(都道府県別)入荷状況(ベスト10)	84
(4)	広島市中央卸売市場における指定野菜の入荷量及び卸売価格の動向(平成30年)	92
8	野菜価格安定対策	95
9	野菜関係事業(国庫補助事業)実施地区(ハード事業)	
(1)	生産振興総合対策事業(農業生産総合対策事業)	99
(2)	輸入急増農産物対応特別対策事業(野菜産地強化特別対策事業)	100
(3)	強い農業づくり交付金(産地競争力の強化)	102
(4)	食料自給率向上・産地再生緊急対策交付金	107
(5)	広域連携等産地競争力強化支援事業	107
(6)	低コスト植物工場成果重視事業	107
(7)	産地競争力向上支援事業(サプライチェーン構築事業)	107

(8) 産地生産拡大プロジェクト支援事業	107
(9) 植物工場普及・拡大支援事業	108
(10) 次世代施設園芸導入加速化支援事業	108
(11) 産地パワーアップ事業	109
10 その他	
(1) 気象災害年表	112
(2) 食料需給表	118
(3) 家計調査における都道府県庁所在市及び政令指定都市別購入量ランキング	120
(4) 中国四国地域の地域伝統野菜	121